

かしまグローバル教育特区について

公益社団法人かしま青年会議所

理事長 井口 善成

1、概要

鹿嶋市において、今後の人口減少が危ぶまれる中で、魅力的な教育カリキュラムを整備することにより、生徒たちが国際社会で戦える土台を構築すると共に、市の転入人口、定住率を向上させる。

そのために、国内でも有数の人数を誇る鹿嶋市在住の外国人留学生（高校生）に、市内の中学生に対して英語の授業を行ってもらおう。100人以上の留学生が通学しており、複数名が同時に同じクラスへ赴くことが可能である。中学生の視点から考えると

- ① 実際に英語を使う頻度を上げ、英語で外国人に話すことへの慣れを作ること
- ② 年齢が近く親近感を持ちながら、英語に慣れること
- ③ 同年代が母国語ではない言葉を自由に話している姿を見て、将来の自分の姿をイメージしてもらおうこと

の3点がメリットとして挙げられる。

また、留学生の立場としても、地元の知り合いが増える、地元に対しての理解を深めるなどのメリットが考えられる。鹿嶋市役所、鹿嶋市教育委員会としても、特色をもった手法に対して積極的に押し進めてくれている。

2、構造改革特区申請内容と効果について

①「特別非常勤講師の派遣に対して都道府県教育委員会の届出が必要で市町村の教育委員会に特別非常勤講師を認定する権利がない」ことに対して、市町村の教育委員会への届出により、特別非常勤講師を認定することができるよう、都道府県から市町村への権限移譲とする。

→鹿嶋市内の小中学校は全て市立であり、実情を現場で理解している市町村の教育委員会に対して特別非常勤講師の届出先とすることで、事前の打ち合わせや相談を含め、より固有のニーズに則した特別非常勤講師とすることができる。

②「特別非常勤講師の届出は個人が対象となっており団体を受理することはできない」ことに対して、市町村の教育委員会が認める団体に所属する構成員が特別非常勤講師として活動できるようにする（規約による条件付けを行う）。

→これにより、100人以上の留学生による授業に対して、円滑に事務処理を進めることができる。将来的には、専門的な知識を有する外部団体（英語学校など）に授業の一部を外部委託するなどの連携を円滑に進めることができる。